

● 8月3日（水） 晴 旭岳（2290m）～ 間宮岳（2185m）

○ 4：10 起床。薄い霧が立ち込めている。周りにはなんと 4 台も車が泊まっている。いつ来たのだろうか？ 顔を洗っているうちにだんだん霧が晴れて来て薄日も差しだした。天気は良さそうだ！

- ・ 早々に朝食をすませ 5 時半に旭岳温泉へ向け出発し6時過ぎにロープウエー駅についた。いつもは満車の無料駐車場も早朝のためまだガラガラ状態。

入口のすぐ近くに駐車しロープウエー駅へ。



- ・ 6時半始発を待つ登山者はまだ数十人ほど。全員始発の箱に乗って姿見駅に着いた。姿見平は霧の中だ。
- ・ 6時40分に霧の中を登り始めたが、登るにつれて霧が晴れて来て、山頂に到着した時にはすっかり晴れわたっていた。

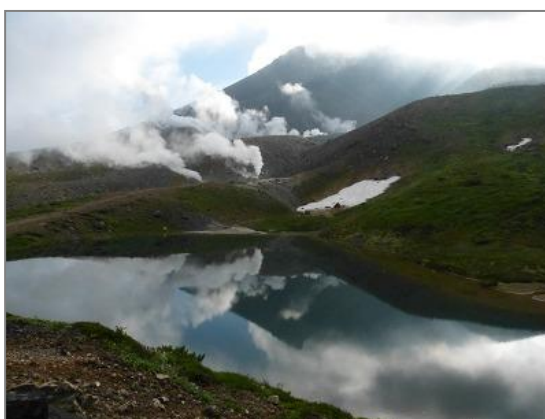
- ・ 登り始めの姿見平にはホソバノキソチドリが一面に咲きミヤマリンドウ、チングルマの実、アオノツガザクラの実、それにミヤマアキノキリンソウの花が一面の美しいお花畑が広がっている。



ホソバノキソチドリが一面に



- ・ 姿見池に着いたころには霧も晴れ噴気孔から吹き出す白い蒸気が美しく池面に写って見えた。



- ・ 7合目あたりでは山頂の稜線もはっきり見え、ウラジロタデがきれいな花を咲かせていた。



- ・ チシマクモマグサやイワツメクサやイワブクロが両側に咲くガレ場の登山道を登り詰め、9時前に山頂に立った。

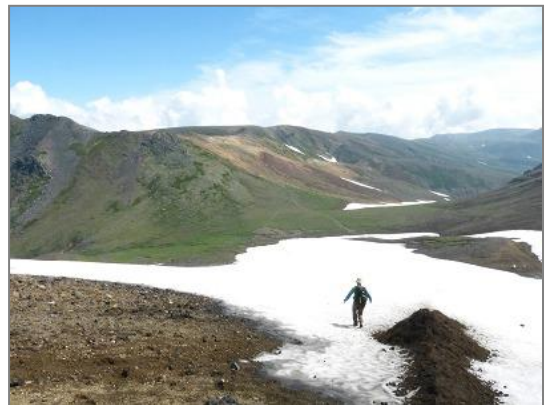


- ・ 山頂はよく晴れていて北鎮岳・黒岳・北海岳白雲岳と大パノラマが開けていた。

すでに大勢の登山客で賑わっていた。



- ・ 予定では「旭岳往復」だったが、まだ9時前だし天気も良いので目の前の間宮岳まで行ってみようと思った。山頂からの下りは火山砂の急斜面で、登山道もはっきりついていないので実に歩きにくい難路。これをしばらく下るとその先にべっとりと雪渓がついている。けっこうな斜面だが真夏の暑さで雪も弛んでいるのでアイゼン無しで歩ける。この雪渓も特に道がついているわけでもなく下に見える雪渓の終点から続く登山道らしき跡をめざしてひたすら下った。



- ・ 旭岳山頂から約200m下った最下部の鞍部が「裏旭キャンプ場」というテントサイトで、雪渓の下なので色々な花が咲き乱れていて美しいところだ。花を楽しみながら一休みしてから間宮岳をめざしての登りが始まった。

・今度はダラダラとした緩斜面で登山道の両側にはお花畑が広がり気持ちの良い楽しい道だ。ほぼコースタイム通りの1時間ちょっとで間宮岳山頂、と云ってもピークは無く、だっ広い丘の上と云う感じの山頂に立った。



東側は御鉢平の斜面が落ち込み足元には御鉢平の壮大なカルデラを望む。ここは御鉢の北側を通り北鎮岳から黒岳へ抜ける大雪山で最もポピュラーな縦走路と、御鉢の南側を通り北海岳から黒岳へ抜ける南縦走路、北海岳から白雲岳へ行き、赤岳・銀泉台へ抜けるコース、白雲岳から緑岳・大雪高原温泉へ下るルートなどの分岐点である。御鉢平といろいろな縦走路を眺めながらのんびりと昼食をとった。意外に登山者は少なく静かで壮大な景色を一人占め。ただ南に広がる大雪連山からトムラウシ山方面は夏雲でかすんでいて良く見えなかった。

- ・景色を堪能し10時半に旭岳に向け来た道を引き返した。途中かなりの登山者とすれ違ったが、なんと外人の多い事か！10組近くの外（殆ど欧米系）のカップルとすれ違った。みんな結構軽装。天気は良いがこれからあんな軽装でどこへ行くのだろうか？（欧米系の登山者には軽装が多い！）
- ・鞍部の「裏旭キャンプ場」のお花畑でゆっくりと花々の写真を撮った。



・炎天下の雪渓と火山砂の急斜面を喘ぎながら登って 12 時前に旭岳山頂へ無事帰還した。

朝にもまして登山者でいっぱいだった。



旭岳の山頂をめざし雪渓を登る

・ 12 時を過ぎると山は雲が湧いてくるがここも定石通り周りに雲が湧き視界も悪くなってきた。下りを急ごう。12 時ちょうどに下山を開始し、後からあとから登ってくる登山者とすれ違いながらバンバン下り、12 時 55 分に姿見池に着いた。なんと 55 分で下ってきた。姿見池で一休みし姿見平周遊コースを回って 13 : 45 発のロープウエーで旭岳温泉は下った。



姿見池をめざし一気に下る



・ 下へ下りるとここも真夏の太陽が照りつけて猛暑。駐車場はもう満車で溢れている。今日は天気恵まれ花も景色も雪渓もすばらしく良い一日を過ごせた。ゆっくり休もう。今日の宿泊は毎年お世話になる当麻に決めた。

・ 当麻の駐車場は今までと何も変わっていない。ただ道を隔てた前にあった草っばらが、きれいな公園になっていた。新しいトイレ棟もあるので覗いてみたが、鍵がかけられていて覗けなかった。何のための公園を造ったのだろうか？



・ いつも止めている角に車を止めまず風呂・ヘルシーシャワーへ。ここも全く変わっていない。今まで何回入浴しただろうか。懐かしい良い風呂だ。風呂上がり一杯！ レストランで生ビールとラーメンサラダで腹を満たし車へ戻ると、当麻の土地の、人の良いおじさんが話しかけて来て、ベンチで小一時間いろいろ昔からのことなど話した。神戸 No の乗用車におじさん。習志野 No のかわいいキャンピングカーに可愛いギャルが一人で泊っているらしく、大事そうに車を洗っている。1100cc の大型バイクで回っているという東京のおじさんに話しかけられ暗くなるまで話が続き、さっき食った生ビールとラーメンサラダ以外結局夜食を食うことなく今日は終了した。